



園芸作物栽培に関する

これからの対策  
と  
Q&A

◎梅雨時期に向けての圃場管理

- ①圃場の表面排水がスムーズに行くように溝や通路等を整えておきましょう。また雨が降っている時に畑を見回り、畑の排水状況を把握しておきましょう。
- ②畝面の土が雨で跳ねると病気に感染しやすくなるので、敷きワラ等をしてください。マルチをしている場合は、マルチ上に水溜りが出来ない様に点検をし、穴をあげてください。
- ③風で倒れない様に支柱を立ててください。
- ④トマト、キュウリ、ズッキーニ、パプリカ等は雨除けをすると病気が少なくなります。

◎病害虫の予防について

◎タマネギの白色疫病について

白色疫病はタマネギの重要病害です。この病気は降雨とともに発生、拡大しますので早急な対策が必要となります。15〜20℃の比較的低温時に発生し、水で感染していくので雨の後に急激に拡大していきます。排水不良の圃場での発生が多いので、排水対策につとめましょう。

薬剤による防除は、予防剤として「ジマンダイセン水和剤」、発生初期ですと「ランマンフロアブル」を散布してください。(表1)ネギ類は薬剤の付着性が悪いいため、展着剤を必ず加用してください。



表1

薬剤名	倍率	散布時期	散布回数
ジマンダイセン水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	5回以内
ランマンフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回以内

◎ジャガイモの疫病

疫病はジャガイモが多くかかる病気です。開花期の5月下旬〜6月中旬に雨が2〜3日続くと発生しやすく、収穫期に雨が多いとイモ自体に病原菌が入り、腐りやすくなります。

対策としては、①排水を良くする。②窒素過多にならない様に施肥量に気をつける。③通風採光を図るために茎を選る事です。薬剤による防除は、予防剤として「ダコニール1000」、発生初期の場合は「フロンサイド水和剤」を散布して



タマネギ白色疫病



お問合せ先

東部ふれあいセンター内  
営農生活課 担当：高橋  
TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ  
<http://ja.tannan.com/> 広報誌をご覧ください。

表2

薬剤名	倍率	散布時期	散布回数
ダコニール1000	500倍〜1,000倍	収穫7日前まで	5回以内
フロンサイド水和剤	1,000倍〜2,000倍	収穫14日前まで	4回以内

◎ジャガイモ、タマネギの収穫

土の水分量が多い日に収穫をすると、ジャガイモは表面の少しの傷から病原菌が侵入しやすくなります。タマネギは水分の高い状態の玉になるため、腐りやすくなってしまう。収穫はあせらず、晴れ間の続く合間を見計らって収穫してください。掘り出したジャガイモは、表皮が乾くまで畑に転がしておいてから取り込み作業を行ってください。タマネギの葉は、しばらく付けたまま干した方が玉の乾きは早くなり腐りにくくなります。



ジャガイモ疫病

ください。(表2)病気が進展してからの防除は非常に困難ですので初期防除につとめてください。

◎除草について

梅雨時期の雑草の伸びは非常に速いので、梅雨前に除草剤を散布しておきましょう。除草剤を使用する場合は、ラウンドアップマックスロード等の根から枯らす剤を使用すると雑草の再生が遅くなります。散布する時間帯は朝露が若干残る早朝が効果的です。周囲に作物がある場合は、ブリグロックスリヤバスタ液剤を使用しますが、登録内容をよく確認し、周囲への飛散に気を付けてください。

畑をしていて特に気になるのはスギナですが、スギナは地中深くに伸びている地下茎で広がっており根絶は難しいです。バスタ液剤(1000倍希釈)を散布すると速効性があり、効果は高いですが、除草剤がかかった部分のみ枯らすので散布後、1ヶ月もすると再生して



きます。ラウンドアップマックスロード(25倍希釈)を散布すると枯らすのに時間はかかりませんが、スギナの再生を少なくできます。石灰を撒くと枯れるという話を聞きますが、実際効果は期待できませんので、出てきたスギナを小まめに刈り取り栄養を蓄えない様にすることが重要です。

